学校番号	205

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	情報デザイン	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「情報デザイン」　（実況出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

デザインは特別な専門家の仕事としてあるわけではありません。毎日の生活の中でデザインを意識してさまざまな問題に答えを見つけていくことができたら、生活は快適な気持ちのよいものに変わってきます。デザインという道具を使って創意工夫し、伝えたい情報を伝えたい人に確実に届けられるようになりましょう。

2　学習の到達目標

デザインの意味を理解し、人に伝わりやすいデザインとは何かを自ら考え、工夫し、実装する。
コンピュータ実習と手作業による実習を合わせ、総合的な表現力と思考力を身に付ける。
日常のいろいろな場面に存在する問題を発見し、デザインを意識して解決する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・問題を多面的に吟味し、解決方法を模索する態度 ・何のためのデザインなのか意識し、それがもたらす効果を積極的に考える態度 ・人間が情報にどう関わってきたかを理解し、知識を伝え共有しようとする態度	・目的を把握し、達成するために工夫する力 ・うまくいかないときに問題点を発見し、観察する力 ・目的を具体的に形づくるための要素を理解し取り扱う力	・デザインを実装するための基本的な技術を身に付け、実生活に活かす ・自ら考えたことを他者へ伝えるためにコンピュータを活用し、発表する	・デザインとは何かを理解し、造形についての知識を深める ・身近な生活のデザイン、多数に伝えるデザイン、情報の理解を助けるデザインについての理解
評価方法	学習状況の観察 筆記プリントの記述 積極的発言・発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 筆記プリントの記述 積極的発言・発表 筆記試験の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 等	学習状況の観察 筆記プリントの記述 筆記試験の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	デザイン・情報・造形の基礎	○何のためのデザインか ○アイデアを形にする ・オートシェイプを用いた表現 ○デザインがもたらすもの ・ロゴやアイコンの作成	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:デザインの効能に興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている b:デザインの目的を考え、より効果的な表現を考え工夫することができる c:考えたデザインをコンピュータで効果的に表現することができる d:デザインとはなにか、またそれがもたらす効果について理解している	授業観察 出席状況 実技プリント 実技作品 筆記試験
	デザインと表現	○形態 ・錯視、ピクトグラムの作成 ○色彩 ・配色実習、スクラップブッキング作成 ○材質感 ・ペーパーバッグ、ロゼット等立体物の作成	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:デザインの造形要素に関心をもち、実技作品に活かそうとしている b:それぞれの造形要素がもたらす効果を考え、組み合わせて表現することができる c:考えたデザインをコンピュータで効果的に表現することができる d:造形要素について理解し、色を効果的に扱うことができる	授業観察 出席状況 実技プリント 実技作品 筆記試験
2学期	デザインと表現	○造形要素の構成 ・POP作成 ○観察から表現へ ○多くの人に伝えるデザイン ・プレゼンテーション実習	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:造形を展開する基本手法に興味を持ち、実技作品に活かそうとしている b:適切な造形手法を選択し、効果的に組み合わせて表現することができる c:多くの人に伝えるために、より効果的な造形手法や配色を考え、作品にし、発表することができる d:造形の基本手法を理解し、効果的に扱うことができる	授業観察 出席状況 実技プリント 実技作品 筆記試験

3学期	デザインの実際	○身近な生活のデザイン ・Webページ作成 ・ショートムービー作成	○	○	○	○	a:デザインで積極的に問題を0解決し、相互の関係を結び付け、活かしあう態度が見られる b:多くの人に伝わるデザインを考え、表現することができる c:考えたデザインを効果的にコンピュータで表現することができる d:イメージを形にするシンボルマークやユニバーサルデザインについて理解し、効果的に扱うことができる	授業観察 出席状況 実技プリント 実技作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。